

# 水害時の身の守りかた。 「心構え」が大切です。

## ふだんの心がけ

**大雨が近づいて来たら、まずは気象情報を確認しましょう！**

大雨が近づいて来たら、新聞、テレビやラジオ、インターネットなどで雲の位置や雨の量などの気象情報を確認するようにしましょう。



知って  
おこう！

## 災害時の心構え

### ① 知っておきたい思わぬ危険

河川などの自然環境では、天候の変化がすぐに事故につながる可能性があります。災害が予想される場所から早めに避難しましょう。



河川上流では、水かさの変化が激しく、中洲に取り残される可能性があります。



急な崖の近くでは、水分を含んだ土砂が崩れる可能性があります。



水かさの増した川の橋はとても危険です。

### ② 洪水からの避難のポイント

洪水災害の威力は計り知れません。避難時の注意点を事前を知ることで被害を最小限に抑えることが可能です。



運動靴が最適です。長靴は、浸水が深いと水が入り、歩きにくくなります。



歩ける水の深さは膝の高さまでです。流れが早いと20cmの深さでも危険です。



水の中は何があるのかわかりません。杖などを使って確認しながら進みましょう。



お年寄りや子どもは、はぐれないうちにお互いをロープなどでつないで避難しましょう。